

会場のご案内

玄治店「濱田家」

とき：平成26年6月12日(木)・13日(金)

AM10:00～PM6:00(受付はPM5:00まで)

ところ：玄治店「濱田家」

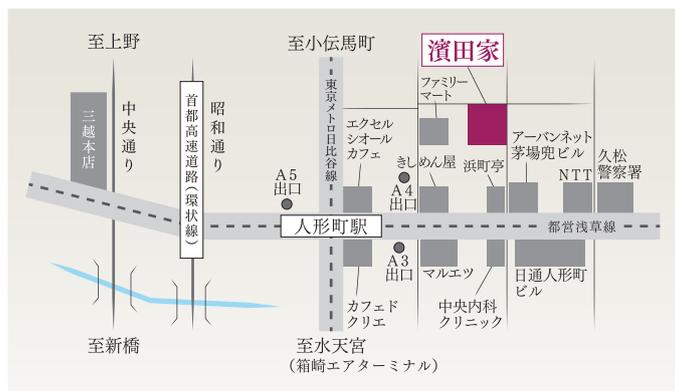
東京都中央区日本橋人形町3-13-5

TEL03-3661-5940

白百合染繡逸品会

会場：玄治店「濱田家」

平成26年6月12日(木)・13日(金)



東京メトロ日比谷線・都営浅草線 人形町駅A4出口／
東京メトロ半蔵門線 水天宮前駅7番出口

平成26年度 白百合染繡逸品会

ごあいさつ

陽春の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別なるご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、平成26年度の「白百合染繡逸品会」を人形町の玄治店「濱田家」にて開催いたします。人形町は下町の中でも、神田の持つ粋な江戸よりもおっとりとした佇まいの街で、色々な老舗が多くあります。その中でも料亭の「濱田家」は大正元年に創業され日本料理の歴史と文化を守り続けてまいりました。そして2008年にミシュランの三ツ星に認定された老舗料亭です。このような素晴らしい料亭にて、多彩な新作の数々を披露させて頂き是非とも皆様にご高覧賜り、ご批判頂ければ幸甚と存じます。

平成26年4月
白百合染繡同人会一同

《出展品目》

黒留袖・色留袖・訪問着・小紋・附下・加工着尺・袋帯・名古屋帯・紬各種・夏物

京友禅「清染居」上野街子

作家来場

上野家は100余年の歴史を誇る名門。二代目の為二は、友禅作家としてはじめて人間国宝に指定されました。

「清染居」の号で日々制作に励む上野街子は、斬新でありながらも女性らしい繊細さと優美さを合わせ持つきものを制作しています。当日は上野街子先生ご本人がお見えになり、染めにまつわるお話や見立てをしていただきます。



上野街子



御寮織帯「紋屋井関」

作家来場

平安の頃、宮廷織物師により育まれた西陣織。紋織の創始者を遠祖に持つ井関家は屋号を紋家といい、戦国時代末期に西陣織物の御寮織司に任命されます。西陣の頂点に立つ六家から構成された御寮織は、明治維新で本制度がなくなるまで公家・将軍・大名の衣装を織り続けました。



結城紬 小倉商店

糸取実演

重要無形文化財にも指定されている結城紬。本場結城と呼ばれる品は、高価ですが、真綿紬の最高峰に位置します。

地元の小倉商店では本場結城紬は勿論の事、自社ブランドの「今幡部」も制作しています。お気軽にお召し頂ける軽くて丈夫な生地です。



実演者 田中紀久美



一刀彫 三代目光蔵

作者来場

図柄を直接下書きし、彫刻刀を用いて一越一越全て手彫りによって仕上げられた生地にはビロードを思わせる艶やかさと立体感があり、他に類を見ない逸品です。

色を使用せず柄をシルエット調に仕上げており、押さえた色調の中にも華やかなエレガンスをたたえます。



組紐 龍工房

組紐実演

武器に使われた紐に由来し、帯メや羽織紐として今に伝わる組紐。日本橋〈龍工房〉は、伝統と技術に新しい感性を加えてものづくりに取り組んでいます。

東京好みのしゃれ味のある帯メ、個性的な図案の帯揚が特徴です。



東京染

江戸の染の技を代表する染家達です。友禅のみならず、紅型、伊勢型染（江戸小紋）、箔押し、江戸刺繍、巧みな引き染等をご披露いたします。



「京鹿の子絞り」藤井絞

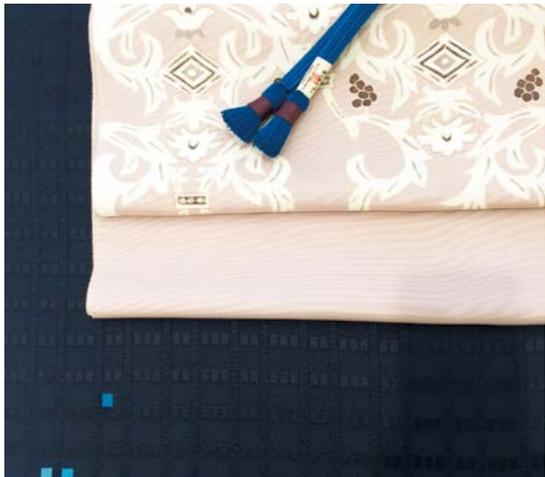
藤井絞は、現在では数少なくなった絞りの老舗メーカーです。

大正4年の創業以来、確かな技術力で伝統を受け継いでいます。

東京好みともいえる色使いは、お洒落着としても魅力的なきものです。



「染織楽房」



「きもの」を楽しむ。モダンで知的な「きもの」スタイル。衿を正し、背筋を伸ばして楚々と歩く。

モダンな空間にもすっと溶け込めるシンプルでひかえめ、身近なお洒落着に。素材感・色合わせで季節を取り入れ、日常の中に「和」を楽しんでほしい。そんな「きもの」と「おび」を提案いたします。



大松

江戸の頃より染色を生業としていた大松は、現在の野口雅史で4代目となります。東京染ならではの色と柄行が大松の持ち味です。繊細な友禅と大胆な構図を、着て美しく見える様に制作しております。



置賜紬 紅花染

置賜紬は、山形県の米沢草木染、長井紬、白鷹紬の総称で、米沢藩主の上杉鷹山公が奨励したことで発達した地場産業です。県花「紅花」による「草木染紬」、板締染色技法による「白たかお召」、「古代米琉絰」など、精巧な手仕事により織物が制作されています。



博多織帯

今年の大河ドラマの主演、黒田官兵衛(黒田家)と博多織は縁深い物があります。1600年、関ヶ原の戦い当時に、博多織は博多の名産品でした。その博多織を徳川家康に献上、以後幕末まで将軍家に献上してきました。博多献上柄と呼ばれるいわれはここに 있습니다。

